

# 切実な願いの実現めざして 県政・国政へ住民の声を届けます

日本共産党

## 県政報告

2007年  
12月  
発行

日本共産党福島県議会議員団  
県庁内控室 福島市杉妻町2の16  
電話 024・5221・7618  
FAX 024・523・3256

### 政府七つの省へ県民の要望を届ける

### 高橋ちづ子衆院議員とともに政府交渉

11月19日、日本共産党福島県委員会と地方議員団は政府七省と県内の切実な要望をもとに交渉を行いました。交渉には、党国会議員団から高橋ちづ子衆院議員、紙智子参院議員、福島県からは宮本しづえ国政対策委員長、神山悦子、宮川えみ子、藤川しゆく子県議など14人が参加しました。

米価下落 農家は減収で悲鳴

農水省では、コメの概算払い金が60kgあたり1万2千円どまりで、「正月も迎えられない」と農家の悲鳴を訴えました。政府担当者が「下支えすると農家も努力しなくなる」と答弁すると、参加者のきびしい抗議が相次ぎ、「農家の実情が分からないわけではない」と言い訳に回りました。

#### C型肝炎支援

感染経路問わず対象に

平田村で多発しているC型肝炎問題では、「感染経路にかかわらず、経済的理由で治療が受けられないような事態にはしない」という方針を明らかにしました。

#### 子育て支援

妊婦検診を交付税措置

子育て支援の問題では、「本年度から妊婦検診を5回を基準に市町村に交付税を出している」と説明があり、宮本しづえ国政対策委員長は、「実施されていない市町村に、実施を求めていく運動を強めていくことが大事」と話しています。



政府交渉を行う高橋ちづ子衆院議員、宮本しづえ国政対策委員長ら、地方議員団（11月19日・衆院第2議員会館）

### 「後期高齢者医療制度」を考えるシンポジウム 年齢による差別医療制度に強い批判

関心高く  
会場満杯



日本共産党県議団と福島市議団が主催した「後期高齢者医療制度を考えるシンポジウム」が10月17日、福島市内で開催されました。来年4月に施行される同制度の中止・凍結をめざし、広く県民に呼びかけ、約160人が参加しました。

第一部では、小川武県広域連合事務局長が制度を説明。高橋ちづ子衆院議員が国会報告をし、母子家庭の児童扶養手当削減の「撤回」を与党が決定したことを取り上げ、「同じように後期高齢者医療制度の中止・撤回を勝ちとりたい」と述べました。

第二部では、高橋議員がシンポジストとしても出席し、県高齢者運動連絡会代表委員の橋本恭司氏、わたり病院院長の丹治伸夫氏がシンポジストをつとめました。

参加者の一人は「75才過ぎても保険料を天引きするなんて許せない」と怒りを述べていました。



会場が満杯となったシンポジウム（11月17日・福島市）

12月定例県議会が12月4日開会しました

会期は12月19日までの16日間です。



## 対県交渉

# 県中児童相談所一時保護所実現へ 県立高校普通科学区一円化断念か

県内の  
地方議員団  
20人が参加



神山悦子、宮川えみ子、藤川しゆく子県議ら地方議員団（10月25日・県庁）

日本共産党県議団と地方議員団は、10月25日、県庁で対県交渉を行いました。

**医師不足 要望に応える努力強める**

医師不足問題では会津美里町の高畑四郎議員が「高田厚生病院には常勤医師が4人しかいなくなり、入院規制がされ、住民から不安の声が出ている」と切実さを訴え、医師確保を求めました。

**県中の児童一時保護所 設置へ前進**

県中児童相談所の一時保護所の設置を求めたところ、県は必要性があるとの認識を示し、その後に関われた政調会で設置に向けた補正予算が12月定例県議会に提案されることになりました。

**県立高校普通科学区一円化 多数が反対**

県の広聴会では、八割、アンケートでは五割以上が「反対」の声。反対署名も五万人を超し、県民の声は反対です。県教委は県民の声に応えるべきです。

県の答弁には、県民の切実な願いに背を向けたものもありましたが、ひきつづき運動を強めていきます。

後期高齢者医療制度の中止撤回を求める  
署名にご協力をお願いします

## 党県議団が青森県を視察 11月14日～15日 六ヶ所村、八戸港、障がい者情報提供施設

日本共産党県議団は、11月14～15日に青森県を視察しました。目的は原発の廃棄物処分現状、八戸港ポートアイランド（人工島）の活用状況、県内にも設置が求められている障がい者情報センターの調査しました。

14日は午前中に青森県庁で総括的な話を聞き、午後は日本源燃のある六ヶ所村で、原子力発電所の放射能をおびた廃棄物処分と中間処理を視察。福島原発から出ている廃棄物の一部もここに運び込まれています。施設内の各廃棄物処理施設を見学しました。

15日は盲・聾の各情報センターを視察し懇談。午後には八戸のポートアイランド（人工島）を調査しました。ポートアイランドは、工業団地の分譲をしているもののほとんど売れていません。



写真上：青森県八戸港のポートアイランド（人工島）を視察する神山悦子、宮川えみ子、藤川しゆく子県議（11月15日）



写真右：障がい者情報提供施設の皆さんからも説明を受けました。（11月15日）